

検討の主な視点

◎優れている ○支障はない △支障がある ×対応が難しい

		①市職員駐車場	②東・西午ヶ池	③半田インター東側
立地条件	必要な面積(40,000㎡以上)が確保されているか。	○ 約41,000㎡ (蔵のまち東駐車場及び現病院敷地を一部含む)	△ 東:約28,800㎡ ○ 西:約49,800㎡	○ 約40,000㎡
	病院を建設することができる用途地域か。	○ 第一種住居地域	△ 市街化調整区域	△ 市街化調整区域
	土地所有の状況	○ 半田市	○ 東:半田市 △ 西:半田町第二区(岩滑区)	× 個人
	地上構築物の撤去・廃止や埋立の必要性がないか。	○ 必要ない(駐車場)	△ 埋立てが必要(ため池)	△ 埋立てが必要(水田)
まちづくり・利便性	まちづくり施策にあっていないか。(半田市都市計画マスタープラン)	◎ 市の中心拠点にある。都市機能の集積を図り、にぎわいと活力に満ちた「活力創造軸」区域内にある。	× 市の中心拠点にない。「活力創造軸」区域内にない。	× 市の中心拠点にない。「活力創造軸」区域内にない。
	人口重心(半田年金事務所付近)からの移動距離	○ 約1.5km 市の人口重心に近い。	△ 約2.9km	× 約4.4km 市の人口重心から離れている。
	鉄道駅からの移動距離	○ JR半田駅から約0.9km 名鉄知多半田駅から約1.4km	△ 名鉄住吉町駅から約2.7km	△ 名鉄青山駅から約1.6km
	バス路線が整備されているか。	◎ 有脇・上池・亀崎・鴉根各線(平日28本/日)	× 路線なし	◎ 常滑線(平日26本/日)
防災	津波による危険性がないか。(H26半田市ハザードマップ)	△ 敷地及び周囲の道路への浸水はない。県道碧南半田常滑線の一部で1m未満の浸水の可能性あり。	◎ 標高 約29m	◎ 標高 約7m
	活断層・ ^{とうきょく} 撓曲が近くにあるか。	○ 加木屋一成岩断層から約1.4km	× 活断層と推定される平井撓曲が直近又は直下にある。	× 活断層と推定される平井撓曲が直近にある。
	液状化の危険性がないか。(H26半田市ハザードマップ)	× 極めて高い。	— 計算対象外	— 計算対象層なし、計算対象外
	高潮浸水の危険性がないか。(H26愛知県高潮浸水想定)(※)	○ 高潮浸水想定範囲ではない。	○ 高潮浸水想定範囲ではない。	○ 高潮浸水想定範囲ではない。
	豪雨時の浸水区域ではないか。(H14ハザードマップ浸水実績図)	○ 平成12年に瑞穂ポンプ場が整備され、現在は問題ない状況にある。	○ —	○ —
事業の実現性	事業期間	○ 平成34年度までに開院	× 最速でも平成38年度以降に開院	× 最速でも平成38年度以降に開院
	事業実現にあたっての課題	・液状化の危険性が高い区域であるので、災害時のアクセス道路等の確保が必要。 ・隣接するアイプラザ半田との連携の検討が必要。 ・敷地形状がL型となるため、動線計画への配慮が必要。	■東午ヶ池 ・敷地上空に高圧線が架設、地役権の設定もあり。(建築制限あり) ■西午ヶ池 ・岩滑区の所有であり、売却時には、総会で2分の1以上の議決が必要。 ・複雑な形状のため、総合病院建設にあたり、周辺私有地の買収が必要。 ■東午ヶ池、西午ヶ池共通 ・市街化調整区域のため、都市計画マスタープランの改訂及び開発許可が必要。 ・土地の造成や地盤改良が必要。 ・周辺に牛舎があるため臭気対策や酪農への影響に配慮が必要。 ・電気・ガス・水道・道路等のインフラ整備が必要。	・市街化調整区域のため、都市計画マスタープランの改訂及び開発許可が必要。 ・農地転用許可が必要。 ・土地所有者の数が多く、土地の購入は難航が予想される。 ・現在水田として使用されているため、地盤改良、水路切り直し等、土地の造成が必要。 ・電気・ガス・水道・道路等のインフラ整備が必要。

(※) 現在、愛知県において見直しが行われている。